



## 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月27日

上場会社名 東海旅客鉄道株式会社

上場取引所 東証一部・大証一部・名証一部

コード番号 9022

URL <http://www.jr-central.co.jp>

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 松本 正之

問合せ先責任者 役職名 取締役広報部長 氏名 宮澤 勝己

TEL (052)564-2549

(百万円未満切捨)

## 1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日 ~ 平成19年6月30日)

## (1)連結経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	377,410	4.3	130,089	5.6	96,135	11.9	56,353	11.8
19年3月期第1四半期	361,800	0.4	123,221	2.6	85,874	7.9	50,411	7.7
19年3月期	1,491,269		402,487		236,654		137,144	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	28,606.51	
19年3月期第1四半期	25,257.92	
19年3月期	69,407.69	

(注)パーセント表示は、対前年同四半期増減率

## (2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	5,143,047	855,207	16.3	426,527.91
19年3月期第1四半期	5,156,210	718,747	13.7	357,431.34
19年3月期	5,164,581	804,412	15.3	400,896.57

## (3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	91,967	50,841	19,841	58,067
19年3月期第1四半期	86,251	43,102	142,565	73,307
19年3月期	427,062	218,395	345,430	36,783

## 2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期	734,000	0.1	226,000	4.8	156,000	10.7	91,000	9.2	46,194.04
通期	1,494,000	0.2	376,000	6.6	228,000	3.7	133,000	3.0	67,514.37

(注) パーセント表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率

## 3. その他

- |   |   |
|---|---|
| (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) | 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無              | 無 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無            | 無 |

(将来に関する記述等についてのご注意)

実際の業績は今後の経済情勢等によって業績予想と異なる場合があります。なお、上記(平成20年3月期の連結業績予想)については、平成19年3月期決算時発表の数値と同一です。

## ( 1 ) 第 1 四半期財務・業績の概況

当四半期（平成19年4月1日から6月30日までの3ヶ月間）における財務・業績の概況について、主な特徴は以下のとおりです。

### 1. 経営成績

#### 鉄道事業

- ・東海道新幹線については、引き続きご利用の集中する時期・時間帯を中心に弾力的な列車の運行に努めました。また、今後の当社の競争力強化の主力車両となるN700系の営業運転開始に向けた諸準備を着実に進めました。
- ・在来線については、昨年度の313系車両の投入及びダイヤ改正により整備した輸送基盤を活かしたサービスの提供に努めました。また、都市圏ICカード「TOICA（トイカ）」について、昨年の名古屋地区に引き続き、平成20年3月の静岡地区への導入に向けた諸準備を進めました。
- ・販売面については、「エクスプレス予約」のより一層のご利用増に努めたほか、ICを活用した新しいサービス「エクスプレス予約ICサービス」の平成20年3月導入に向けた諸準備を進めました。また、京都をはじめ、奈良・伊勢・東京等の各方面へ向けた観光キャンペーンを展開したほか、50歳以上のお客様を対象とした旅クラブJR東海「50+（フィフティ・プラス）」会員に対する魅力ある商品を設定しました。
- ・このような諸施策を実施したうえで、当四半期においても東海道新幹線、在来線とも安全・安定輸送を完遂しました。輸送人キロについては、東海道新幹線は前年同期に比べ4.4%の増加、在来線は前年同期に比べ2.2%の増加となりました。

#### 鉄道以外の事業

- ・ジェイアール名古屋タカシマヤについては、昨年専門店ゾーンを含めた大規模な売場改装を実施したことなどにより、売上高は前年同期比6.1%増となりました。
- ・主要駅において、高架橋柱等耐震補強及び駅設備改良にあわせて構内商業施設のリニューアルを進めました。
- ・保有資産の高度利用や有効活用の観点から、社宅跡地開発を推進し、本年4月に「NAGOYA CENTRAL GARDEN（ナゴヤ セントラルガーデン）」の商業施設を開業するとともに、期分譲マンションの工事に着手したほか、平成20年春分譲予定の「セントラルガーデン・レジデンス徳川明倫町」について着実に工事を進めました。また、「JR東海新横浜駅ビル（仮称）」については、平成20年の開業に向け着実に工事を進めました。

これらの施策に加え、好調な経済状況もあり、当四半期の営業収益は前年同期比4.3%増の3,774億円となりました。経常利益は前年同期比11.9%増の961億円、四半期純利益は前年同期比11.8%増の563億円となりました。

### 2. 長期債務等の状況

当四半期において、社債により399億円を調達した一方、長期借入金90億円を返済しました。

## (2) 要約四半期連結財務諸表

## 要約四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

区 分	前連結会計年度 (平成19年3月31日)	当四半期末 (平成19年6月30日)	増 減	(参考) 前年同四半期末 (平成18年6月30日)
	金 額	金 額	金 額	金 額
(資産の部)				
流動資産				
1. 現金及び預金	32,921	54,785	21,863	71,488
2. 受取手形及び売掛金	24,822	21,652	3,170	18,632
3. 未収運賃	34,278	29,599	4,679	13,182
4. その他の流動資産	81,543	65,965	15,577	58,879
流動資産合計	173,565	172,002	1,562	162,183
固定資産				
1. 有形固定資産	4,696,012	4,676,079	19,932	4,732,305
2. 無形固定資産	11,741	11,283	457	13,355
3. 投資その他の資産	283,262	283,681	418	248,365
固定資産合計	4,991,015	4,971,044	19,970	4,994,026
資産合計	5,164,581	5,143,047	21,533	5,156,210
(負債の部)				
流動負債				
1. 支払手形及び買掛金	60,792	38,903	21,888	34,402
2. 短期社債	44,999	-	44,999	-
3. 1年内返済長期借入金	113,382	123,061	9,678	117,168
4. 1年内に支払う 鉄道施設購入長期未払金	116,697	116,697	-	186,336
5. その他の流動負債	322,479	279,501	42,978	268,280
流動負債合計	658,351	558,164	100,187	606,187
固定負債				
1. 社債	564,952	604,941	39,989	495,000
2. 長期借入金	616,185	597,428	18,756	648,405
3. 鉄道施設購入長期未払金	2,087,373	2,087,373	-	2,269,879
4. その他の固定負債	433,306	439,932	6,625	417,989
固定負債合計	3,701,817	3,729,675	27,858	3,831,274
負債合計	4,360,169	4,287,840	72,328	4,437,462
(純資産の部)				
株主資本				
1. 資本金	112,000	112,000	-	112,000
2. 資本剰余金	53,588	53,588	-	53,500
3. 利益剰余金	905,776	954,241	48,465	825,943
4. 自己株式	309,151	309,151	-	309,943
株主資本合計	762,213	810,679	48,465	681,499
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	27,532	29,560	2,027	22,388
評価・換算差額等合計	27,532	29,560	2,027	22,388
少数株主持分	14,665	14,967	302	14,859
純資産合計	804,412	855,207	50,794	718,747
負債・純資産合計	5,164,581	5,143,047	21,533	5,156,210

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 要約四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

区 分	前年同四半期	当四半期	増 減	(参考) 前連結会計年度
	(自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)		(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	金 額
営 業 収 益	361,800	377,410	15,609	1,491,269
営 業 費	238,578	247,320	8,742	1,088,782
1. 運輸業等営業費及び売上原価	198,630	205,564	6,933	922,109
2. 販売費及び一般管理費	39,948	41,756	1,808	166,672
営 業 利 益	123,221	130,089	6,867	402,487
営 業 外 収 益	1,166	1,514	348	9,979
1. 受取利息及び受取配当金	495	843	348	874
2. その他の営業外収益	670	671	0	9,104
営 業 外 費 用	38,513	35,468	3,044	175,812
1. 支 払 利 息	6,668	7,333	664	28,867
2. 鉄道施設購入長期未払金利息	31,163	27,825	3,338	121,525
3. その他の営業外費用	681	310	371	25,419
経 常 利 益	85,874	96,135	10,261	236,654
特 別 利 益	541	1,950	1,408	19,173
1. 工事負担金受入額等	392	1,769	1,377	15,017
2. その他の特別利益	149	180	31	4,155
特 別 損 失	1,157	2,339	1,182	22,786
1. 固定資産圧縮損	308	1,767	1,459	16,772
2. その他の特別損失	849	571	277	6,013
税金等調整前四半期(当期)純利益	85,259	95,746	10,487	233,040
法人税、住民税及び事業税	24,437	31,270	6,833	97,823
法人税等調整額	10,029	7,808	2,221	3,344
少数株主利益	380	313	66	1,417
四半期(当期)純利益	50,411	56,353	5,941	137,144

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

区 分	前年同四半期	当四半期	増 減	(参考) 前連結会計年度
	(自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)		(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益	85,259	95,746	10,487	233,040
2. 減 価 償 却 費	52,693	53,397	704	215,225
3. 受 取 利 息 及 び 受 取 配 当 金	495	843	348	874
4. 支 払 利 息	37,831	35,158	2,673	150,393
5. 売上債権の減少額(は増加額)	7,212	7,849	637	19,733
6. 仕入債務の増加額(は減少額)	15,388	21,888	6,499	10,810
7. 未払金の増加額(は減少額)	20,112	32,840	12,728	9,779
8. そ の 他	4,738	6,978	2,239	89,365
小 計	151,738	143,557	8,180	688,007
9. 利息及び配当金の受取額	521	869	348	899
10. 利息の支払額	3,572	2,687	884	150,785
11. 法人税等の支払額	62,435	49,772	12,663	111,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	86,251	91,967	5,715	427,062
投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形・無形固定資産の取得による支出	47,828	61,901	14,073	203,558
2. そ の 他 ( 純 額 )	4,726	11,059	6,333	14,837
投資活動によるキャッシュ・フロー	43,102	50,841	7,739	218,395
財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期社債の純増加額(は純減少額)	-	44,999	44,999	44,999
2. 社債発行・長期借入による収入	180,000	39,988	140,012	321,851
3. 長期債務の返済による支出	8,802	9,078	276	369,077
4. 自己株式の取得による支出	308,988	-	308,988	308,988
5. そ の 他 ( 純 額 )	4,775	5,752	976	34,214
財務活動によるキャッシュ・フロー	142,565	19,841	122,724	345,430
現金及び現金同等物の増加額(は減少額)	99,416	21,284	120,700	136,763
現金及び現金同等物の期首残高	172,723	36,783	135,939	172,723
連結子会社による非連結子会社の合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	-	-	-	824
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	73,307	58,067	15,239	36,783

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

## セグメント情報

## 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

(単位 百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	294,435	45,563	9,348	12,452	361,800	-	361,800
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,870	3,231	4,870	12,362	23,334	( 23,334)	-
計	297,305	48,794	14,219	24,814	385,134	( 23,334)	361,800
営 業 費 用	179,508	46,887	10,575	25,032	262,003	( 23,425)	238,578
営業利益又は営業損失( )	117,797	1,906	3,644	217	123,130	91	123,221

当四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位 百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	305,873	47,818	9,584	14,133	377,410	-	377,410
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,448	2,058	4,950	12,165	22,622	( 22,622)	-
計	309,322	49,876	14,534	26,298	400,032	( 22,622)	377,410
営 業 費 用	183,886	47,855	11,240	26,821	269,803	( 22,482)	247,320
営業利益又は営業損失( )	125,436	2,021	3,293	522	130,229	( 139)	130,089

(参考) 前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位 百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,200,353	187,197	41,895	61,823	1,491,269		1,491,269
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,714	8,643	20,703	97,670	138,732	( 138,732)	
計	1,212,067	195,840	62,599	159,494	1,630,002	( 138,732)	1,491,269
営 業 費 用	834,527	188,278	48,857	155,294	1,226,957	( 138,175)	1,088,782
営 業 利 益	377,539	7,562	13,741	4,200	403,044	( 556)	402,487

## 平成19年4～6月期の業績の概要（連結）

平成19年7月27日  
東海旅客鉄道株式会社

### 1. 経営成績の概要

- ・のぞみの利便性向上など、引き続き東海道新幹線の競争力強化施策を行ったことに加え、良好な経済状況もあり、東海道新幹線の輸送量が好調に推移し、運輸収入が大幅に増加したことなどから、増収・増益の決算となった。

#### (1) 営業収益（3,774億円 前年同期比+156億円、4.3%増）

- ・当社単体の運輸収入は、4.0%（113億円）増の2,931億円となった。
- ・東海道新幹線については、弾力的な列車の運行や「エクスプレス予約」のより一層のご利用増に努めるなど、引き続き東海道新幹線の競争力強化施策を行った結果、ご利用が増加し、輸送人キロが4.4%増となるとともに、運輸収入も4.2%（106億円）増の2,667億円となった。また、今後の競争力強化のための主力車両であるN700系の7月1日の営業運転開始に向けた諸準備を着実に進めた。
- ・在来線については、昨年度、313系の新製・投入とダイヤ改正により整備した輸送基盤を活かしたサービスの提供に努めた結果、名古屋・静岡両地区における普通列車を中心にご利用が増加した。この結果、輸送人キロは2.2%増加し、運輸収入も2.6%（6億円）増の263億円となった。
- ・鉄道以外の事業についても、社宅跡地を開発した「NAGOYA CENTRALGARDEN（ナゴヤ セントラルガーデン）」において4月に商業施設を開業したほか、ジェイアール名古屋タカシマヤをはじめとする流通業や、京都・浜松など改装を行った駅ビルが好調であった。

#### (2) 営業費（2,473億円 前年同期比+87億円、3.7%増）

- ・子会社の仕入経費の増加などにより、前年同期と比べて増加。

#### (3) 営業利益（1,300億円 前年同期比+68億円、5.6%増）

#### (4) 営業外損益（339億円 前年同期比33億円改善）

- ・長期債務の平均金利の低下などに伴い、支払利息が26億円減少。

#### (5) 経常利益（961億円 前年同期比+102億円、11.9%増）

#### (6) 特別損益（3億円 前年同期比+2億円）

#### (7) 四半期純利益（563億円 前年同期比+59億円、11.8%増）

### 2. 平成20年3月期の業績予想

- ・中間期、通期ともに、4月に発表した数値を据え置く。



〔別紙2〕

要約四半期個別貸借対照表

(単位 百万円)

区 分	前事業年度 (平成19年3月31日)	当四半期末 (平成19年6月30日)	増 減	(参考) 前年同四半期末 (平成18年6月30日)
(資産の部)				
流動資産	136,640	134,480	2,160	127,835
固定資産	4,866,859	4,852,801	14,057	4,874,863
資産合計	5,003,499	4,987,281	16,218	5,002,698
(負債の部)				
流動負債	654,845	557,973	96,871	610,373
固定負債	3,586,273	3,616,462	30,189	3,710,168
負債合計	4,241,118	4,174,436	66,682	4,320,541
(純資産の部)				
資本金	112,000	112,000	-	112,000
資本剰余金	53,586	53,586	-	53,500
利益剰余金	877,712	926,162	48,450	803,526
自己株式	308,168	308,168	-	308,988
株主資本合計	735,130	783,580	48,450	660,038
その他有価証券評価差額金	27,251	29,265	2,013	22,118
評価・換算差額等合計	27,251	29,265	2,013	22,118
純資産合計	762,381	812,845	50,464	682,156
負債・純資産合計	5,003,499	4,987,281	16,218	5,002,698

要約四半期個別損益計算書

(単位 百万円)

区 分	前年同四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	当四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	増 減	(参考) 前事業年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
営業収益	297,351	309,452	12,101	1,212,314
営業費	178,465	183,200	4,734	831,491
営業利益	118,885	126,252	7,366	380,823
営業外収益	976	1,594	618	9,351
営業外費用	37,949	35,031	2,917	173,444
経常利益	81,912	92,815	10,902	216,730
特別利益	488	2,597	2,109	19,104
特別損失	351	1,768	1,416	17,868
税引前四半期(当期)純利益	82,049	93,645	11,595	217,966
法人税、住民税及び事業税	23,173	29,906	6,733	90,801
法人税等調整額	9,820	7,400	2,419	2,976
四半期(当期)純利益	49,056	56,338	7,281	130,141

平成20年3月期の個別業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期	603,000	0.0	219,000	5.9	150,000	13.2	90,000	13.6	45,638.32
通期	1,216,000	0.3	357,000	6.3	211,000	2.6	127,000	2.4	64,400.74

(注) パーセント表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率

(将来に関する記述等についてのご注意)

実際の業績は今後の経済情勢等によって業績予想と異なる場合があります。なお、上記(平成20年3月期の個別業績予想)については、平成19年3月期決算時発表の数値と同一です。

## 〔別紙3〕

## 輸送人キ口および運輸収入の比較

(単位 百万人キ口、億円)

			平成18年 4～6月累計	平成19年 4～6月累計	前期比(%)	
輸 送 人 キ 口	新 幹 線	定 期	3 2 6	3 3 8	1 0 3 . 8	
		定期外	1 0 , 6 7 5	1 1 , 1 4 3	1 0 4 . 4	
		合 計	1 1 , 0 0 1	1 1 , 4 8 2	1 0 4 . 4	
	在 来 線	定 期	1 , 4 1 5	1 , 4 3 4	1 0 1 . 3	
		定期外	9 1 0	9 4 3	1 0 3 . 7	
		合 計	2 , 3 2 5	2 , 3 7 7	1 0 2 . 2	
	合 計	定 期	1 , 7 4 1	1 , 7 7 2	1 0 1 . 8	
		定期外	1 1 , 5 8 5	1 2 , 0 8 7	1 0 4 . 3	
		合 計	1 3 , 3 2 7	1 3 , 8 5 9	1 0 4 . 0	
運 輸 収 入	運 賃 ・ 料 金	新 幹 線	定 期	3 8	3 9	1 0 3 . 8
			定期外	2 , 5 2 2	2 , 6 2 7	1 0 4 . 2
			合 計	2 , 5 6 0	2 , 6 6 7	1 0 4 . 2
	在 来 線	定 期	8 5	8 6	1 0 1 . 7	
		定期外	1 7 1	1 7 6	1 0 3 . 1	
		合 計	2 5 6	2 6 3	1 0 2 . 6	
	合 計	定 期	1 2 3	1 2 6	1 0 2 . 3	
		定期外	2 , 6 9 3	2 , 8 0 4	1 0 4 . 1	
		合 計	2 , 8 1 7	2 , 9 3 0	1 0 4 . 0	
	小荷物運賃・料金			0	0	8 8 . 5
	合計			2 , 8 1 7	2 , 9 3 1	1 0 4 . 0

- (注) 1. 当社単体に係る輸送人キ口および運輸収入を記載  
2. 輸送人キ口は単位未満端数四捨五入  
3. 運輸収入は単位未満端数切捨